



12月23日 引き継がれる伝統の太鼓

国東小学校の5年生が体育館で「荒谷太鼓」を披露し、1年生が迫力ある演奏を楽しみました。平成15年に旧上国崎小学校で始まった荒谷太鼓は、学校統合により国東小学校へと引き継がれて現在に至ります。この日は、荒谷太鼓を創作した元教員の國廣精一さん(国東町鶴川)も鑑賞。國廣さんは「みんなの堂々とした演奏に感動しました。これからも継承していきましょう」と児童らに語りかけていました。



▲国東小5年生と國廣精一さん

12月18日 みんなの「夢」が咲くことを願って

市内に河津桜を植樹している「夢咲き桜の会」が、志成学園の開校を記念して、河津桜の苗木6本を同校に寄贈しました。4年生が参加して行われた植樹式では、藤本加代子会長が「この河津桜を私たちは『夢咲き桜』と名付けています。皆さんの夢を願いながら、植えてください」とあいさつ。児童を代表して、森絢萌さんが「今日はよい思い出ができました。桜が咲くのが楽しみです」とお礼を述べました。



▲森絢萌さん(中央)

1月5日 伸び伸びとお題に挑む

「第15回国東半島書き初め大会」(国東半島あいルネサンス連盟主催)が志成学園で行われ、市内外から108名の小中学生が参加し、「ケベス祭」や「吉武東里」など国東市にちなんだお題に挑みました。国東小4年生の今富羽琉さんは「『祭』の字が難しかったけど、うまく書けました」と満足そうに話してくれました。



12月23日 七島藪のしめ縄飾りを市に寄贈

国東高校園芸ビジネス科(バイオ類型)の3年生3名が市役所を訪れ、七島藪で作ったしめ縄飾りを市に寄贈しました。同校の溝邊大翔さんは「柔道部だったので、力を入れてしめました」、小野晴香さん(中央)と安部怜佳さんは「前に作ったリースよりも苦戦しましたが、納得いく作品ができました」と作った感想を述べていました。



12月23日 漢字一字に思いをこめて

市図書館が毎年募集している「今年の漢字一字」の表彰式がくにさき図書館で行われました。教育長賞を受賞した中野妃菜さん(国東小5年生)は「家族で心を合わせて頑張りたいです」、館長賞を受賞した谷野元子さん(国見町岐部)は「子年生まれの孫が2人生まれて、うれしい年でした」と選んだ漢字の理由を説明していました。



12月22日 門松でおめでたい気持ちに

国東町綱井地区の「綱井門松保存会」の皆さんが、市役所の玄関前に門松を製作しました。約2時間30分で、立派な門松が完成。難波隆信代表(後列中央)は「市役所は多くの市民が来る場所なので、みんなで気合を入れて作りました。門松を見て、おめでたい気分になってくれたらうれしいです」と話していました。

